

1. 沿革

平成23年	6月1日	磯部小学校、磯部中学校、中村第二小学校、中村第二中学校へ定期的なスクールカウンセラー派遣
平成23年	6月2日	特定非営利活動法人相馬フォロアーチーム設立 理事7名、監事1名、事務局長1名、スタッフ6名 理事長に山田耕一郎、副理事長に志邨有紀枝が就任
平成23年	9月1日	日立木小学校へスクールカウンセラー派遣
平成23年	11月1日	玉野小学校へスクールカウンセラー派遣
平成24年	4月1日	理事長に羽根田万通、事務局長に渋谷常範が就任 アート・メゾン予定地に仮設事務所を設置し、生涯学習会館より移転 山上小学校へスクールカウンセラー派遣
平成25年	4月1日	事務局長に齋藤順至が就任
平成25年	12月2日	事務所をLVMH子どもアート・メゾンに移転
平成26年	4月1日	カウンセラー3名・保健師1名から、カウンセラー4名体制
平成26年	7月2日	世界の医療団からカウンセラーの支援派遣 LVMH子どもアート・メゾンが正式にオープンし、相談室での相談を開始
平成27年	4月1日	カウンセラー3名体制
平成28年	4月1日	事務局長に堀川幸一が就任

2. 設置の趣旨

相馬市内の子ども、保護者、教員に対して、震災により生じた心理的ショックを緩和するための心理的なケアを行い、市民の心の健康の維持に寄与するとともに、子どもたちの生きる力を育むことを目的とする。

3. 活動方針

【初期の目標】子どもの生活を充実させる

- 心理支援を行うことにより、子どもの不安や悩み、PTSD様反応などの解消を目指す。
- 学校・家庭・地域への支援を行うことで、子どもの生活の質を向上させる。

【中・長期の目標】子どものたくましさを育てる

- 心理支援を行うことにより、自尊感情や自己肯定感を高めるような働きかけを行う。
- 子どもたちが人々と温かいつながりを持つことができるよう支援し、個々に持っている「困難をはね返す力」を再発見できるよう促していく。
- 子どもたちが健やかにたくましく成長できるような働きかけを行う。

4. 組織

(1) 理事会

理事長	羽根田 万通(会社役員)	副理事長	志邨 有紀枝 (難民を助ける会理事長)
理事	上 昌広 (NPO法人医療ガバナンス研究所理事長) 宮澤 保夫 (星槎グループ会長)、近藤 菜々子 (弁護士) 佐藤 達雄 (税理士)、片寄 雅彦 (医師)		
監事	反畑 正博	事務局長	堀川 幸一

(2) スタッフ

担当	職名	氏名
心理支援	カウンセラー	今井 香織 (臨床心理士) 志水 貴紀 (臨床心理士) 城戸 有未 (心理士)
事務局	事務局長	堀川 幸一

5. 事業の概要

(1) 学校巡回型心理支援

① スクールカウンセリング

- 児童生徒や保護者へのカウンセリング活動
- 震災遺児への継続的・多面的な見守り活動及びカウンセリング
- 教員が児童・生徒の問題を効果的に解決できるような援助

学 校	担 当	曜 日
磯部小学校	今井 香織	水
磯部中学校	城戸 有未	月
中村第二小学校	志水 貴紀、城戸 有未、東 美穂 (世界の医療団)	月・火・水
中村第二中学校	今井 香織、志水 貴紀	火・木

② 教職員への支援

- 教員研修の実施と講師派遣

③ 緊急支援

- 児童・生徒等に関わる事件や事故が発生した際に、上記以外の学校にも短期、集中的にカウンセラーの派遣

(2) 拠点型心理支援

① LVMH子どもアート・メゾン相談室での活動

- 乳幼児から18歳までの子どもに関する来所相談
- 保護者の希望に応じて、幼稚園、保育所、学校、関係機関との連携

場 所	担 当	曜日・時間
アート・メゾン相談室	今井 香織、志水 貴紀	火・水・木・金 (9時～17時)

(3) 他機関と連携した心理支援

① 関係機関や組織、教育機関との連携・協働

- ② 子育て支援 (保健センターや自立支援協議会巡回相談へのスタッフ派遣等)

理事長あいさつ

阪神大震災の時、警視庁の機動隊員だった友人は、震災の翌々日に神戸に入りました。2人一組で現地を巡回していると、7・8歳くらいの少女が駆け寄ってきて、「お巡りさん、助けて！そのガレキの下にお母さんがいるの。」それはコンクリートのガレキの山で、重機でなければどうにもならないものでした。泣きじゃくる少女を避難所に連れて行きました。彼等も泣きながら……。そのことを今でも時々夢に見て、目が覚めると涙を流しているそうです。

私の涙の友人は、3.11の震災で小学4年生の男の子を津波で亡くしました。家には子どもの写真がたくさん掛けてあって、その時身につけていた衣類などがハンガーに掛けてあります。「一度でいいから夢をみたいんだけど、一度もみさせてくれないんだ。」

私は脳について学んだことがないので、脳の構造や潜在意識などのことはよくわかりません。悲しみの記憶をたびたび夢でみて涙を流す人もいれば、願っても一度もみることができない人もいますのです。

3.11の震災から5年が経ちました。子どもたちの心のケアは勿論、教職員や保護者の心の対策も今後ますます大切だと思います。

おだやかな微笑の下で、人間の脳がどのように機能しようとするのか、見つけ続けていきたいと考えます。

平成28年5月

NPO法人相馬フォロアーチーム理事長 羽根田万通



平成28年度 要覧



特定非営利活動法人

相馬フォロアーチーム

〒976-0042 福島県相馬市中村2-2-15 LVMH子どもアート・メゾン

電話 0244-35-6200 FAX 0244-35-6215

URL <http://www.soma-ft.org/> E-mail sft@soma-ft.org